



横浜緑ロータリークラブ様

mori no oto  
森ノオト

2023年11月8日



**横浜北部から寄付文化を醸成していきたい！  
「横浜に住んでいてよかった」を発信する  
NPO法人森ノオト 10年のあゆみ**

NPO法人森ノオト 理事長 北原まどか





# 北原 まどか

NPO法人森ノオト 理事長  
エディター・ライター

## CONTACT

✉ [kitahara@morinooto.jp](mailto:kitahara@morinooto.jp)

☎ 090-3003-3465

📍 横浜市青葉区在住

## PROFILE

1977年山形県生まれ。NPO法人森ノオト理事長。2009年の長女出産を機に、暮らしの足元から環境に調和した地域社会を作ろうと、ローカルウェブメディア「森ノオト」を創刊。3.11を機に生活者目線で持続可能なエネルギー社会を作ろうと奮起。時の大臣に「お母さん版エネルギー基本計画」を手渡し、政策提言を行った。2013年に森ノオトをNPO法人化し、情報発信とさまざまな環境啓発活動に取り組む。現在は市民活動団体の情報発信サポートや、市民ライターの育成に力を注ぐほか、個人として執筆活動も再開している。

# 森ノオトとは

2009年11月、横浜市青葉区で誕生したローカルウェブメディア「森ノオト」。未来を育む子育て世代が書き手となって、等身大で温度感のある目線で暮らしのこと、地域や地球の未来につながる情報を発信してきました。2013年1月にNPO法人森ノオトを設立。メディア運営でつながった地域の活動団体や行政、企業の人たちと一緒に、子育てや環境に関わる事業をつくってきました。町内会や公園愛護会といった地域に根ざした草の根の活動に光を当てたり、行政と協働で地域の子育て団体と子育て当事者をつなげる事業や、横浜市の各地で市民ライターを育成して地域情報の担い手の裾野を広げるなど、「情報」を軸にさまざまな市民活動をサポートしてきました。



## VISION

森ノオトが掲げる理想

「地域や自然と調和した社会と、  
その担い手を育てる」

## MISSION

森ノオトが果たすべき使命

「暮らしの足元から地域を編集し、  
一步を踏み出すきっかけをつくる」



ローカルメディア「森ノオト」

< 森ノオトの4事業 >

メディア  
事業部

ローカルメディア  
(オウンドメディア)「森ノオト」の  
運営、ライター育成、  
編集部コミュニティの運営



Appliqué  
事業部

寄付布循環事業「めぐる布市」と  
ECサイトの運営、  
製作者コミュニティの運営

コミュニティ  
デザイン事業部

横浜市青葉区を拠点にした  
地域協働の実践、子育て支援、  
花と緑の活動支援、  
地産地消活動支援



ローカルメディア  
デザイン事業部

各地の市民ライターの育成、  
地域活動団体の発信力UP支援、  
メディアリテラシー教育  
ワークショップ展開





Special Issue 2020/06/26

## 特集：わたしたちのエコライフのいま

10年前から森ノオトで伝え続けているエコライフ。言葉が暮らしになじみ、当たり前のように「エコ」のいまをひもといてみると、肩ひじ張らずに楽しく続ける、衣食住のめぐる暮らしが見えてきました。私たちの生活するこの場から、新しい暮らし方を考え、これからの社会を見つめてみませんか。

くらす たべる

### おいしく、たのしく！私たちの暮らしのエコ、集めました【おいしく編】

written by 渡辺 絵梨 2020/06/25

いよいよ7月から義務化されるレジ袋の有料化により、マイバッグを持ち歩く生活が当たり前になりつつあります。せっかくのこの機会に、森ノオトライターが実践している暮らしのエコを教えてくださいましたところ、様々なおいしいエコやたのしいエコが集まりました。前編では、おいしい...



くらす  
おいしく、たのしく！私たちの暮らしのエコ、集めました【たのしく編】

written by 渡辺 絵梨 2020/06/26



でかける  
「捨てるをつくるを楽しくつなぐ」6/26-28はお宝探しに森ノハナレへおいでませ

written by 齊藤由美子 2020/06/12



くらす  
衣類の「もったいない」を次世代へ。ファイバーリサイクルネットワーク

written by 宇都宮南海子 2018/12/26



くらす つくる

### AppliQué 日々のコト vol.20 - AppliQué的エコ生活-

written by 齊藤由美子 2020/06/20

森ノオトが運営する布のアップサイクルブランド「AppliQué（アプリケ）」。工房でも家でも布や手芸にふれることが多いAppliQuéのスタッフたちの暮らしから、AppliQuéのエコ生活を探してみました。



くらす  
バッグがなくちゃ始まらない！毎日とともにするエコバッグができました。

written by 梶田聖由美 2020/06/08



つくる  
脱プラスチックのはじめの一步 エコにも防災にも役立つみつろうラップ

written by 中島裕子 2019/08/05



まなぶ  
仲間内のパーティから大規模イベントまで。リユース食器文化のWaveを、横浜あおばからもう一度広めよう！

written by 梅原昭子 2019/10/26

### たべる テイクアウトのごみ問題解決！？鍋ごと、皿ごと、マイ食器歓迎のお店

written by 北原まどか 2020/05/07

地元の飲食店でテイクアウトが広がりを見せ、わが家の食卓でプロの味を楽しめるようになりました。一方で、使い捨て容器のごみが増え、台所のごみ箱は飽和状態。ごみを出さないテイクアウトを進めている「食堂POCO」「コマデリ」「2.bananeira」の取り組みを紹介...



くらす  
川崎市民でつくる環境循環の輪！使用済みてんぷら油（廃食油）原料のリサイクル石けん「きなりっこ」

written by 坂垣泰子 2019/03/13



つくる  
タンスに眠っている着物に新しい命を吹き込みたい広げたいうたしもんべ

written by 齊藤由美子 2018/11/12



くらす  
音楽文化のリユース&リサイクル！「中古レコードのタチバナ」

written by 寄稿者 2018/10/02





# NPOとしてのあゆみ

2013年

2016年

2019年

2022年

2025年～

## 草創期

- ・法人化前にメディアとしての活動実績3年
- ・2013年1月7日にNPO法人設立
- ・あおばECOアカデミー（横浜市地球温暖化対策本部）、映画『よみがえりのレシピ』上映会、あおばを食べる収穫祭
- ・次世代郊外まちづくりへの参画
- ・2年目にして組織の危機、3年目に事務局
- ・神奈川県ボランティアACEプログラム
- ・神奈川県ボランティア奨励賞受賞

## 成長期

- ・セブン-イレブン記念財団環境NPO組織基盤強化助成→AppliQué
- ・初の常勤スタッフ
- ・エコDIY、ママのエコワーク
- ・神奈川県ボランティア活動補助金「発信力UP講座」
- ・青葉区協働提案「Welcomeあおば子育てツアー」
- ・青葉区市民協働事業「フラワーダイアログあおば」

## 成熟期

- ・寄付の強化（マンスリーサポーター）
- ・コロナ禍
- ・企業協働
- ・事務局長・編集長の交代

## 中間支援

- ・コミュニティデザイン事業部（地域に密着した「地域の事務局」機能）
- ・ローカルメディアデザイン事業部（情報発信や広報に特化したNPOへの中間支援機能）
- ・認定NPO
- ・組織の世代交代

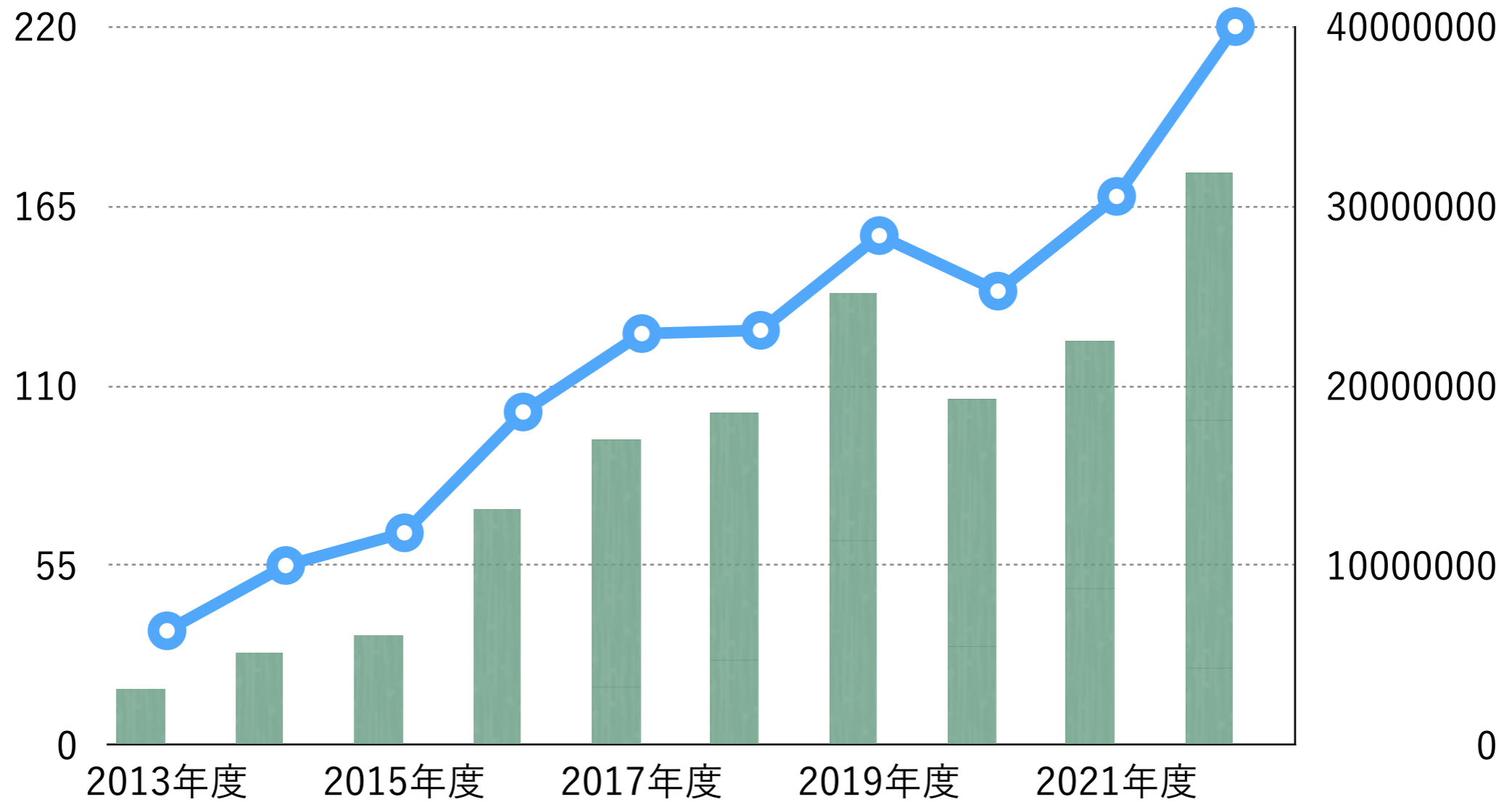


# 収入の推移

支援者数 220  
正会員・マンスリーサポーター含

NPO会員数

収入



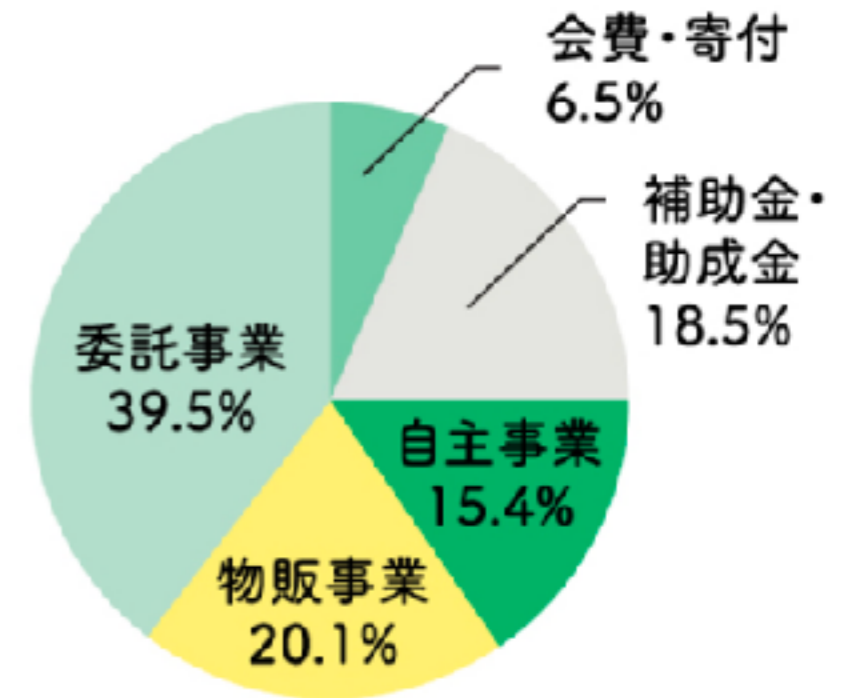
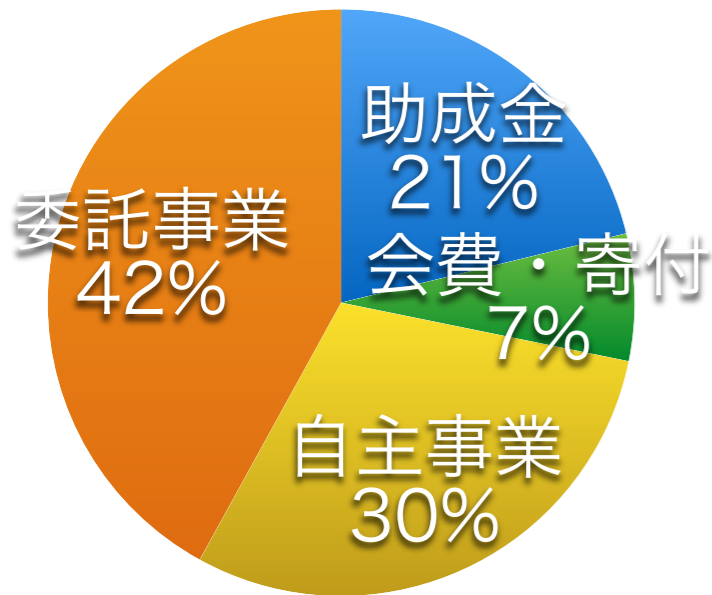
年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2018年度2	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
収入	3,059,437	5,161,552	6,140,576	13,077,895	16,542,450	18,550,125	4,603,671	25,189,374	19,206,080	22,515,017	31,860,537
支出	3,267,207	5,051,574	5,762,748	10,933,008	17,676,971	18,708,021	4,653,748	21,349,183	19,641,680	22,186,489	28,374,085



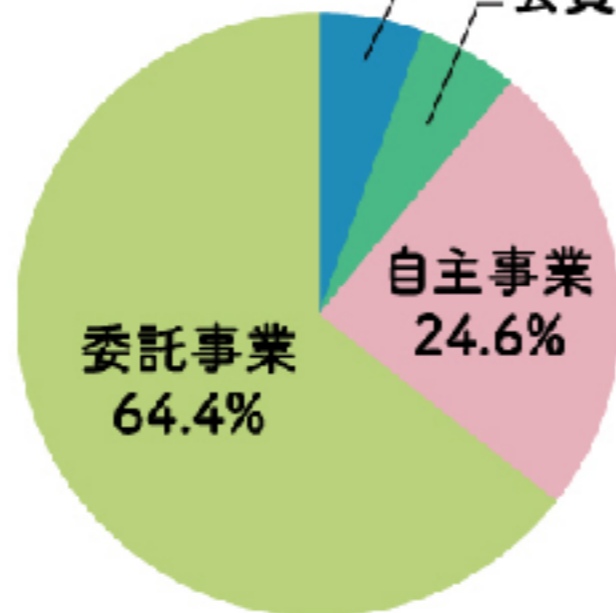
# 収益構造の推移

2022年度

2020年度



補助金・助成金 5.6% 会費・寄付 5.4% 2021年度



# 森ノオトのお財布・4つの入り口

会費・寄付金収入をのばしていく

## 会費・寄付金

- ・「森ノオト」の運営、編集

## 用途の自由度（大）

## 自主事業収益

- ・めぐる布市
- ・メディアリテラシー教育
- ・いいかも市、あおばを食べる収穫祭

## 支援性

- ・地域活動団体の発信力支援  
(WAM助成2022ほか)

## 対価性

- ・青葉区委託（子育て支援、フラワーダイアログ、農あるまちづくり、学生ライター、3R夢な暮らし講座）
- ・シティプロモーション（緑区、金沢区、泉区、都筑区ほか）
- ・行政制作物（はまふうどナビほか）

## 助成金・補助金

## 用途の自由度（小）

## 委託事業収益

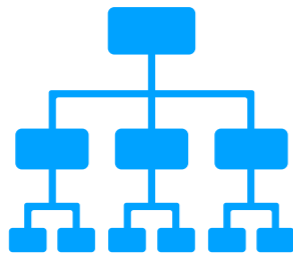


# メディア運営にかかる費用

ボランティアでは支えきれないメディア運営

## 編集

企画／編集・校正／  
チーム運営  
入稿／発信



取材／執筆



サーバー



拠点



デザイン／  
エンジニア



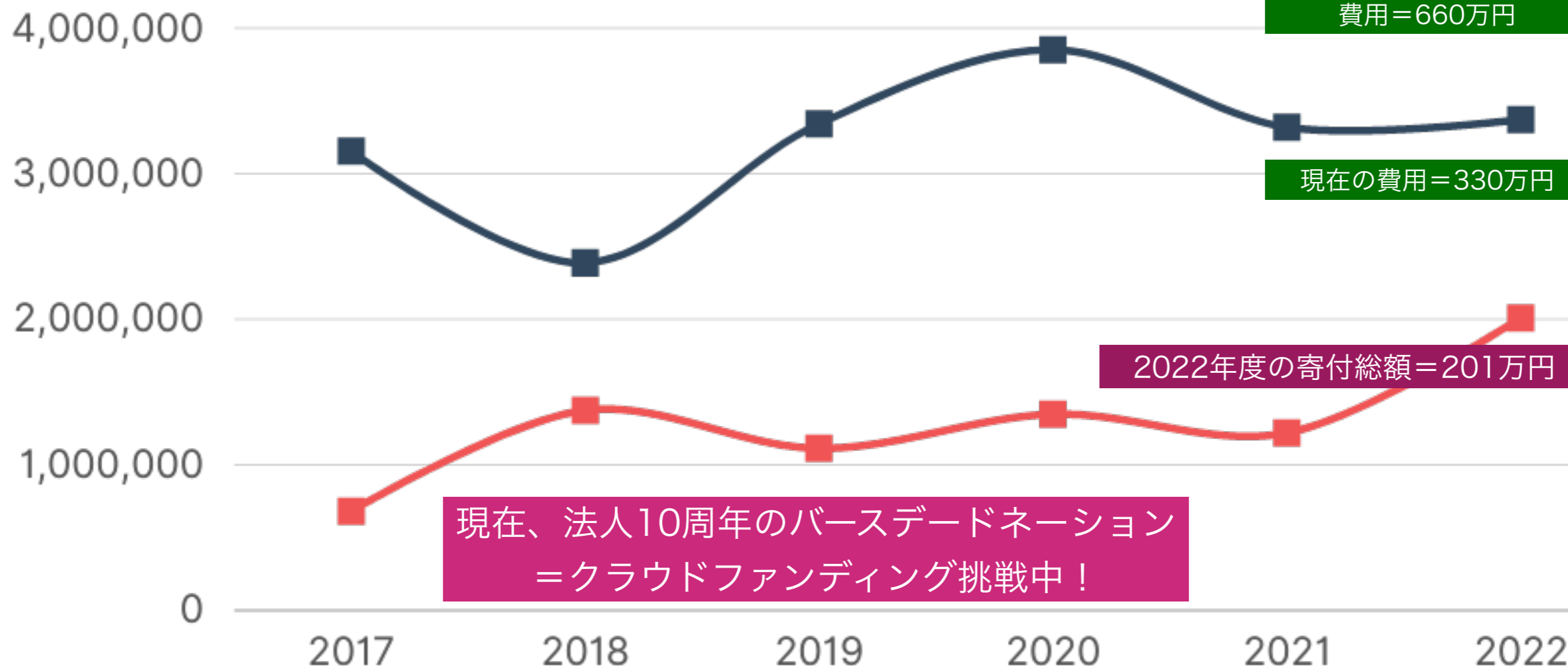
森ノオトの場合



他のメディアの場合



# 森ノオトメディア運営と寄付の関係



黒線がメディア運営に係る経費で、年間330～400万円程度で推移しています。内訳は編集費、SNS運用費、維持・管理費、ライター原稿料となり、足りない部分を他事業の収益で補填している状況です。メディアを寄付で独立運営することを目指し、寄付額が増えることでメディアによるまちづくりを加速していくことができます。

寄付によって理想の編集体制をつくりたい



## NPOとは何か？ NPOとしての森ノオトの強み

公益の  
担い手

経済性・収益性からこぼれ落ちるような課題に向き合い  
市民による相互扶助の実践と、現場の声を制度に届けて仕組み化する

まちづ  
くり

地域活動に主体的に取り組み、地域の現場にある課題や魅力を率先して発見し、言語化して伝えることで、地域社会に広く周知していく

収益の  
還元

委託や協働事業によって得た収益は、NPOの本来事業＝活動に還元  
(株主還元ではない) 地域や社会をよくしていくことに循環する

高い専  
門性

情報発信・広報にとことん取り組み、自らの実践を普遍的なノウハウに落とし込み、NPOや市民団体をサポートする立場に

政策提  
言

地域の声、現場の声に耳を傾け、集め、分析して行政に届ける  
NPOや地域とのネットワークが強み

# 森ノオトは「情報」で地域を元気にするメディアであり、NPOです！

森ノオトには地域のさまざまな活動の  
情報があり、つながることができます。  
地域に暮らす市民が発信しています！

初めての子育てで不安  
がいっぱい。地域に頼  
れる人がいない……

子どもが学校に行かな  
い選択をして、平日の昼  
間に行く場所がない

地域の公園のお花がき  
れいで癒される。私も  
何かできないかな？

一人暮らしの母の食事  
が心配。毎日通えな  
いし、食事をサポートし  
てくれる人がいれば



このまちには、あなたを  
支えてくれる人がたくさ  
んいる。そんな情報のギ  
フトを贈りませんか？

森ノオトの情報発信は  
寄付によって  
支えられています



# 横浜北部から寄付文化を醸成していきたい！森ノオトは認定NPOを目指しています

## カテゴリ1

まちづくり、災害支援、国際協力など、いわゆる「NPO」への支援

## カテゴリ2

共同募金、自治会・町内会、政治資金、宗教など（いわゆる既存寄付）

## カテゴリ3

ふるさと納税

## NPOへの寄付は、課題解決や未来社会への直接投資！

- ・ NPOは寄付によって法人のミッションに基づいて、自由に使うことができる（委託とは異なる）
  - ・ 収益性がない事業であっても、支援が集まれば課題解決のために使うことができる
  - ・ 寄付してくださった方への感謝のもと、託していただいたお金の使い方への責任がある
- しかし、課題も・・・
- ・ 日本の寄付市場は世界の中でもワーストクラス？（世界人助け指数118位）
  - ・ 日本の寄付市場は1.2兆円、ふるさと納税の伸びが大きい（2020年-6000億円）
  - ・ 寄付したお金がきちんと使われているかに不安を感じる人が77.2%

→NPOとして説明責任

## 認定NPOへの寄付は、寄付者に税制優遇がある

- ・ 個人寄付の場合、住民税とあわせて最大50%の寄附金控除（寄付した金額-2000円が対象）
- ・ 法人寄付の場合、一定の算式で算出された金額の範囲が損金算入できる
- ・ 寄付した財産が相続税の課税対象から外れる（遺贈寄付）

認定NPOは役員、会計、労務、事業において厳しい監査が行われ、かつ透明性をもって情報公開することが求められます。森ノオトは認定NPOになることで、寄付をより広くから集めていきます。

地域社会のために活動している団体や個人の活動を情報発信によって広げ、支えていく「広報・PR・まちづくりの中間支援NPO」を目指します。森ノオトを寄付でサポートください。よろしくお願ひします！

